

大沢下り

1994. 3/6(日)～3/7(月)

馬 場

三月六日(日) 吹 雪

天元台スキー場ロープウェー終点に会員十九名全員集合、リフト終点からシール登行した。人形石に着いて天気の様子をみたため待機した。吹雪が止まず視界も悪いため撤退することになった。

三月七日(月) 快 晴

私は、一昨日岡坂さんの車と二台で大沢駅に行き車をデボした。宿も予約してあったので温泉に泊った。天気予報通り快晴になる。

始発のロープウェー。リフトに乗り終点に着く。登山履を履く、若女平コースを下るというテレマーフのスキーを持った人と会話をする。

リフトの係員の人が「今日は、珍しく鳥海山も見える」と言っていた。人形石に着き、昨日こんな天気だったら大勢で楽しく行けたのに残念だった。ここから100M位シールを外すと滑る。途中から

トレースがあり、赤旗には、大阪大学ワンケルと記されていた。今朝吾妻小屋から東大巔らしい。東大巔には登らす御兵衛平からはっきり見える小屋を目あてにトラノヤースする。明月荘に着くとワンケルの学生が、昼食のために雪を集めていた。少し会話を交わし下降点までシールのまま北をめざす。しばらく樹林帯を避け渓川寄りを滑り降りる。古いツアーブックを見かける。志ちゃんこすがしの急斜面の樹林の間を滑り砂盛の前で谷に降り休憩する。

ここからシールを着け新雪をかぶったトレースを進む、途中で梅森を目指して登ったのに気付く。砂盛に向かう。ここまでスノーモビルで登ってきた跡があり滑り降りた跡があり大自然の中の楽しい滑降気分が半減する。あとは、このコースは二回目で地図で現在地点も確認せず調子のいい滑った跡につられて正規の元小屋川沿えの牧場コースに入らず大屋川沿えに滑り送電線の前から低木の藪に入り時間を取り元小屋の先で林道に出でて二岐山にまかれた鞍に着く。

コースタイム

リフト終点 9:00

人形石 10:00

明月荘 11:50

大沢駅 15:00